

JR 東日本ウォータービジネス “Suica 自販機” をエキナカからマチナカへ！

JR 東日本グループの株式会社 JR 東日本ウォータービジネス(以下、ウォータービジネス社)は、東日本旅客鉄道株式会社(以下、JR 東日本)と連携し、Suica 自販機をマチナカに広げていきます。

エキナカでお客さまにご好評頂いている Suica 自販機をマチナカに広げるため、ウォータービジネス社は、自販機に Suica を活用した新たな仕組みを準備いたしました。

具体的には、アサヒ飲料株式会社、株式会社伊藤園、大塚製薬株式会社、キリンビバレッジ株式会社、サントリーフーズ株式会社(以上 50 音順)の各メーカーに Suica 自販機の導入を開始いたします。

これにより、お客さまはマチナカの自販機でも、エキナカの自販機同様に便利にお飲み物をお買い求め頂けるようになります。

(注) Suica は JR 東日本の登録商標です。

Suica 自販機をマチナカに展開します

2009 年 12 月下旬から順次、首都圏のマチナカに、Suica 自販機の導入を開始いたします。

(参考：エキナカの自販機では Suica のご利用が増加しています)

Suica 自販機は、「お買い物スピーディー」・「小銭が増えない」・「財布の取出しが不要」など利便性の向上について、お客さまからご好評頂いています。

ウォータービジネス社のエキナカの Suica 自販機は約 5,500 台ありますが、Suica による決済率は現在では平均で 40%弱へと急上昇しています。

ウォータービジネス Suica 自販機台数・Suica 決済率



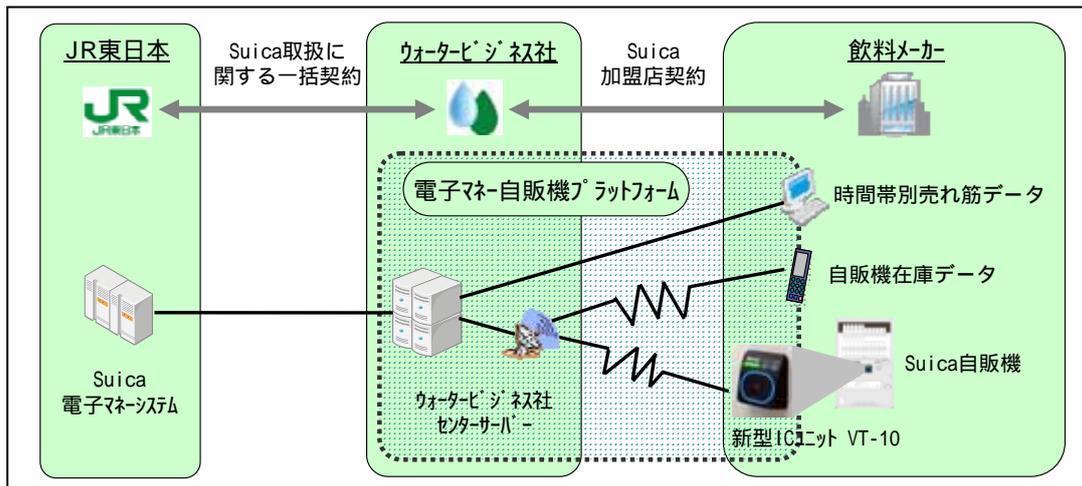
新しい自販機の仕組みの導入【別紙】

今回、ウォータービジネス社は、Suica 自販機をマチナカに広げるため、Suica を活用した新たな仕組みとして「電子マネー自販機プラットフォーム」を開発いたしました。

「電子マネー自販機プラットフォーム」について

1. 「電子マネー自販機プラットフォーム」のシステム構成

「電子マネー自販機プラットフォーム」は、Suicaをはじめとする交通系電子マネーの仕組みに対応するとともに、マーケティングの機能を有するセンターサーバーと、センターサーバーに対応したICユニット「VT-10（ジェイアール東日本メカトロニクス株式会社製）」で構成される、飲料自販機のための新たな仕組みです。

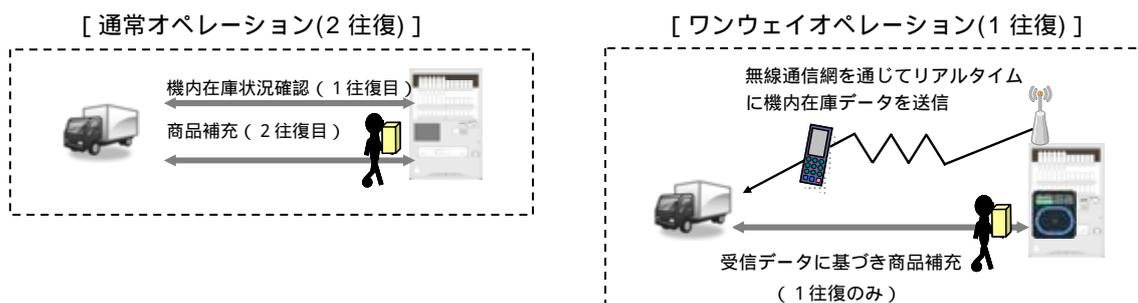


2. 「電子マネー自販機プラットフォーム」の特徴

Suica 電子マネーでの決済が可能になります。

「マーケティング機能」により時間帯別の売れ筋商品を把握し、お客さまのニーズに合った商品を提供することができます。

「自販機在庫確認機能」により、離れた場所から通信でリアルタイムに在庫を確認できるようになり、スピーディーな商品補充（ワンウェイオペレーション）を可能にします。



参考：JR 東日本ウォータービジネス 会社概要

- ・ 商号 株式会社JR東日本ウォータービジネス（JR東日本100%子会社）
- ・ 代表 代表取締役社長 田村 修
- ・ 設立 2006年8月1日
- ・ 売上規模 2008年度 約378億円
- ・ 事業概要 (1) JR東日本グループ向け清涼飲料の仕入・卸事業
(2) エキナカを中心とする自動販売機事業
(3) 谷川岳の湧水を活用したオリジナル商品開発事業
- ・ ホームページ URL <http://www.jre-water.co.jp/>